

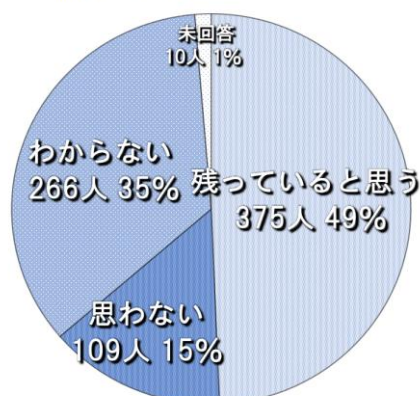
～毎月 10 日は人権を考える日～

差別（部落差別）など、もうないよね？

本当にそうでしょうか？たしかに日常生活の中で、表面上はなくなっていると思う人もいるでしょう。しかし、2016年に出された「部落差別の解消の推進に関する法律」では、

第一条 この法律は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ・・・

問17 部落問題(同和問題)は今も残っていると思いますか。



「令和 6 年度人権問題に関する市民意識調査報告書」（西条市 市民生活部 人権擁護課・西条市人権教育協議会）では、左記のような結果が出ています。

マイクロアグレッション！

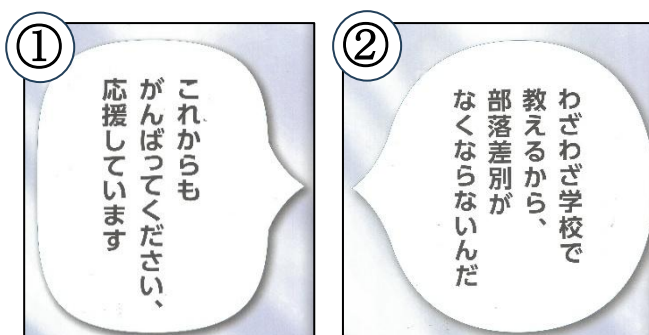
マイクロアグレッションは、「無意識の差別」と言われます。

右の意見①②は福岡県人権センターが 2024 年に行った特別展のパネルの一部です。

① 部落出身者が啓発・講演会などを行った際に、たびたび言われることがあるそうです。

でも、差別をなくすためにがんばらなければならないのは、「差別されている人」でしょうか？そんなつもりで言ったのではないでしょうが、「私にもできることをがんばってします！」とでも言うべきでしょう。

② 教えるなということは、今すでに差別されている人に「泣き寝入りをしなさい」「がまんしなさい」と言っていることと同じなのです。



第 55 回特別展（福岡県）人権啓発センター）
「日常の中にある部落差別～マイクロアグレッションってなに？」 2024 年 3 月 から

このように、昔の差別は「あからさま」の行為が多いので、すぐ差別とわかりました。しかし、現在の差別は、「あからさまでない」ことが多く、日常的なコミュニケーションの中で、たいてい無自覚・無意識的に起こることが多いようです。①と②は、一見建設的な意見と思えますが、「無意識の差別」と言わざるを得ません。意識の底に差別意識がまったくなければ、こういう意見は出てこないように思えます。